

目標達成計画

事業所：小規模多機能型居宅介護 えみな栄町

作成日：平成26年 4月 22日

市町村受理日：平成26年 4月 24日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	日々のケアサービスが介護計画に沿っているかが確認し易い書式の整備を検討する予定なので期待します。また、介護計画、ケアサービスの実践、評価の流れに基づいた適切な記録方法の検討も、職員全員で学ぶ事を期待します。	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	ケアプランを基にしており、ミーティング、引き継ぎなどの場面で、しっかりとケアプランを意識しながら、引き継ぎ内容を職員間で話し合う事を目標とし、今後、書式の見直しも検討していく。また、ご家族様とのやり取りをするお便り帳なども分かりやすく明確に行う。	実行中
2	13	様々な災害や緊急事態に向けて、利用者の安全を確保しながら、慌てずに避難誘導出来る様に、継続的な自主訓練の実施を期待します。訪問介護先で災害が発生した場合の対策についても協議される事を期待します。	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	日常的に避難経路の確認を行い備える。訪問時の災害に備え、連絡体制を明確にし、連絡がつかない場合を想定し、訪問先の地域の避難場所を確認しておく。	実行中
3	15	利用者の重度化に伴い食事の介助が必要になり、職員が食事を共にとる事が難しい現状ですが、利用者と職員が同じ食卓を囲み、同じ物を食する事が望ましいので、職員も一緒に食事を楽しむ環境作りの検討、若しくは1名でも検食者の配置の検討を期待します。	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者や職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	利用者の安全な食事と介助を第一に考え、その上で職員も一緒に食事がとれるよう、休憩時間や入浴時間の検討や食事会などの企画を交えながら、楽しい食事の場面を増やす。 また、検食を行う。	実行中
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。